

グ ラ ン ド ラ イ ン
GRANDLINE

令和8年9月30日 No.5

 初めての定期テストを終えて

9 月 3 日、中学生になって初めての定期テストがありました。5 教科のテストを 1 日で全部受けるのが初めてだった、というお子様も多かったのではないのでしょうか。テスト当日は、5 時間連続のテストに疲れの表情を見せつつも、休み時間に友達と問題を出し合うなど、テストに対して前向きに取り組む姿が見られました。一方、テスト後の反応は千差万別でした。夏休み中に勉強した成果がしっかり出た人、勉強はしていたけれど思うような点数が取れなかった人、「もっと勉強しておけばよかった・・・！」と夏休み中の取り組みを反省する人など、様々でした。子どもたちは初めての定期テストで、中学校の勉強の難しさや、小学校のときと同じような対策では太刀打ちできないことなどを改めて実感している様子でした。



テスト後は、自分の勉強の取り組みの結果が点数として目に見えるため、勉強のモチベーションを上げやすいタイミングです。テストの結果を受けて、意識が変わり、テスト後も毎日必ず家庭学習に取り組んでいる人もいます。

10 月 6 日には前期の通知表も配布されます。成績には、テストの点数だけでなく、日々の授業や提出物への取り組みも反映されています。ご家庭でも、通知表をご覧ください、ぜひお子様と一緒に学習について考え、引き続きサポートしていただければと思います。

◎定期テストのポイント

- ・間違えた問題を必ず復習する。今の勉強内容が 2 年後の高校入試にもつながっていきます。
- ・テスト勉強の取り組み方を見直す。

(勉強時間は十分だったか、集中できる環境で勉強できたか、勉強の質はよかったか、など)

◎通知表が配布されたらここを振り返ってみましょう！

- ・提出物をきちんと提出することができていたか。
(提出物をすべて出せているか、締め切りに間に合っていたか、提出物の内容はどうだったか、など)
- ・普段の授業に、集中して取り組めていたか。
- ・毎日の家庭学習を、復習を中心にしっかり行っていたか。
- ・定期テストや小テストなどへの取り組みはどうだったか。

♪「美しい大切なもの」を目指して！

9月14日から音楽祭特別日課が始まりました。帰り学活を15分延長し、その中でパートごとに合唱練習を重ねています。パートリーダーたちは、特別日課が始まる前の週から会議を重ねていました。まずは、どのような合唱を目指すのかについて話し合いました。「聴いている人を感動させたい」、「大切なもの



の思い浮かぶような合唱に」など、様々な意見を交換して考えた結果、1学年では「大切なものを思い浮かべながら、美しく流れるように歌おう」を目標に練習を進めていくことになりました。また、パートリーダーたちの中で、「〇日までに歌詞を覚えよう」、「体育館練習までには各パートの音程を必ず完璧にしよう」などの中期目標も決め、それに向けてどのような練習をしていけばよいかについても話し合いました。



いざ、音楽祭特別日課が始まると、思ったように練習が進まずに苦戦している様子も見られました。しかし、練習の後にはパートリーダーたちで集まって改善点を出し合い、次の日の練習に向けて話し合いをする姿も毎日見られました。生徒たちが自分たちの手で「美しい大切なもの」を創り上げようと試行錯誤しながら練習を進める姿に、大きな成長を感じた瞬間でした。パートリーダー以外の生徒も、そんなパートリーダーの思いに応えようと一生懸命歌い、日に日に歌うときの表情が良くなっていると感じます。

9月25日には初めての体育館練習がありました。これまでの練習の成果のおかげか、各パートがとてもきれいに重なり合い、素敵なハーモニーの合唱でした。指揮者中心に練習が進められ、指揮者からは「まずは目線と姿勢に気を付けて歌ってほしい」とアドバイスがありました。また、パートごとの声量の差や、口の開け方なども課題点として挙げられていました。本番ではこれらに加え、強弱や歌詞の内容を考えて歌えるように、さらにレベルアップした歌声を目指して残り少ない期間の練習を頑張っています。本番、ぜひ子どもたちの練習の成果をお聴きください。

